

1. 医療の需要を最も増大させる要因はどれか。
1. 医療機関の増加
 2. 先進医療機器の導入
 3. 人口集団の高齢化
 4. 診療報酬の引き上げ
- 医療概論
2. 我が国の公的医療保険制度の特徴で誤っている記述はどれか。
1. 運営は保険者が行う。
 2. 一部負担金がある。
 3. 任意の加入である。
 4. はり・きゅうの保険施術は現金給付である。
- 医療概論
3. 栄養素で推定平均必要量が算出できない場合に用いる指標はどれか。
1. 推奨量
 2. 目安量
 3. 耐用上限量
 4. 目標量
- 衛生学
4. 年末の登録結核患者数を分子とし人口を分母とする指標はどれか。
1. 有病率
 2. 罹患率
 3. 受療率
 4. 受診率
- 衛生学
5. 後天性免疫不全症候群について感染の危険性があるのはどれか。
1. 汗
 2. 涙
 3. 唾液
 4. 母乳
- 衛生学
6. 我が国の2010年の老年人口割合で正しいのはどれか。
1. 約14%
 2. 約19%
 3. 約23%
 4. 約28%
- 衛生学
7. コホート研究で正しいのはどれか。
1. 罹患率を求めることができる。
 2. 症例対照研究より研究期間が短い。
 3. 後ろ向き研究である。
 4. まれな疾患を効率的に研究できる。
- 衛生学
8. 耳に痛みを感じ始める騒音レベル（デシベル）はどれか。
1. 約40
 2. 約70
 3. 約100
 4. 約130
- 衛生学
9. 光化学オキシダントの原因とならないのはどれか。
1. オゾン
 2. 窒素酸化物
 3. 浮遊粒子状物質
 4. 硝酸ペルオキシアセチル
- 衛生学

10. 乳児死亡率を表す式はどれか。

1. (生後1年未満の死亡数の合計) ÷ (人口) × 1000
2. (生後1年未満の死亡数の合計) ÷ (その年の出生数の合計) × 1000
3. (生後1年未満の死亡数の合計) ÷ (その年の出産数の合計) × 1000
4. (死産後の合計) ÷ (生後1年未満の死亡数の合計) × 1000

衛生学

11. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で施術所について正しい記述はどれか。

1. 施術室は6.0平方メートル以上でなければならない。
2. 待合室は3.3平方メートル以上でなければならない。
3. 開設の届け先は厚生労働大臣である。
4. 施術所の名称を「東京鍼灸医院」とすることができる。

関係法規

12. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で施術者の身分が消滅するのはどれか。

1. 精神疾患に罹患したとき
2. 破産手続開始が決定されたとき
3. 厚生労働大臣から業務停止命令を受けたとき
4. 失踪宣言を受けたとき

関係法規

13. 医療法で救急医療を提供する能力が要件になっている医療施設はどれか。

1. 有床診療所
2. 介護老人保健施設
3. 地域医療支援病院
4. 特定機能病院

関係法規

14. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で施術所の届出事項はどれか。

1. 業務の種類
2. 広告する事項
3. 雇用する従業員数
4. 建物の面積

関係法規

15. 神経膠細胞で中枢神経の髄鞘形成に関与するのはどれか。

1. 上衣細胞
2. 小膠細胞
3. 星状膠細胞
4. 希突起膠細胞

解剖学

16. 新生児の頭蓋において最後に閉鎖するのはどれか。

1. 大泉門
2. 小泉門
3. 前側頭泉門
4. 後側頭泉門

解剖学

17. 頭蓋で下顎骨が関節をなすのはどれか。

1. 口蓋骨
2. 上顎骨
3. 側頭骨
4. 蝶形骨

解剖学

18. 仙骨と他の椎骨の部位との組合わせで正しいのはどれか。

1. 横線———椎体
2. 仙骨管———椎間孔
3. 正中仙骨稜———棘突起
4. 中間仙骨稜———横突起

解剖学

19. 上肢の筋で正中神経が通り抜けるのはどれか。

1. 回外筋
2. 円回内筋
3. 烏口腕筋
4. 母指内転筋

解剖学

20. 肩甲骨に付着する筋とその付着する部位との組合せで正しいのはどれか。

1. 棘上筋——肩峰
2. 小円筋——関節下結節
3. 小胸筋——烏口突起
4. 小菱形筋——下角

解剖学

21. 下肢の筋で大腿骨に付着するのはどれか。

1. 大腿直筋
2. 内閉鎖筋
3. 薄筋
4. 縫工筋

解剖学

22. 間膜と付着部との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝冠状間膜——横隔膜
2. 小網——脾臓
3. 大網——空腸
4. 腸間膜——腎臓

解剖学

23. ディッセ腔にみられるのはどれか。

1. クッパー星細胞
2. ビタミンA貯蔵細胞
3. 赤血球
4. 胆汁

解剖学

24. 心臓の後室間枝と一緒に走行する静脈はどれか。

1. 前心臓静脈
2. 大心臓静脈
3. 中心臓静脈
4. 冠状静脈洞

解剖学

25. 大腿動脈の枝はどれか。

1. 内側大腿回旋動脈
2. 下腹壁動脈
3. 下殿動脈
4. 閉鎖動脈

解剖学

26. 上肢の動脈と走行部位との組合せで正しいのはどれか。

1. 肩甲回旋動脈——外側腋窩隙
2. 上腕動脈——外側二頭筋溝
3. 橈骨動脈——手根管
4. 尺骨動脈——ギヨン管

解剖学

27. 小脳にみられるのはどれか。

1. オリーブ
2. 黒質
3. 赤核
4. 歯状核

解剖学



28. 神経叢で副交感神経を含むのはどれか。

1. 頸神経叢
2. 腕神経叢
3. 腰神経叢
4. 仙骨神経叢

解剖学

29. 側頭葉にみられるのはどれか。

1. 運動野
2. 視覚野
3. 体性感覚野
4. 聴覚野

解剖学

30. 皮膚について正しい記述はどれか。

1. 立毛筋は交感神経が支配する。
2. ルフィニ小体は痛覚に関与する。
3. メラノサイトは角質層に存在する。
4. アポクリン汗腺は全身の皮膚に分布する。

解剖学

31. 細胞小器官とその働きとの組合せで正しいのはどれか。

1. リボソーム—蛋白質合成
2. リソソーム—遺伝情報伝達
3. 中心体—物質運搬
4. ゴルジ装置—細胞分裂

生理学

32. 妊娠を繰り返すにつれて母体の抗Rh抗体産生が起こりやすくなる組合せはどれか。

1. Rh-形の女性—Rh-形の男性
2. Rh-形の女性—Rh+形の男性
3. Rh+形の女性—Rh-形の男性
4. Rh+形の女性—Rh+形の男性

生理学

33. 徐脈がみられるのはどれか。

1. 運動時
2. 頸動脈洞圧迫時
3. 精神的興奮時
4. 発熱時

生理学

34. 頸動脈小体を刺激するのはどれか。

1. 血液量の減少
2. 血液のpH上昇
3. 血液の酸素ガス分圧減少
4. 動脈圧の上昇

生理学

35. 胃の受け入れ弛緩はどれか。

1. 体性—運動反射
2. 体性—内臓反射
3. 内臓—運動反射
4. 内臓—内臓反射

生理学

36. グルコースについて正しいのはどれか。

1. 多糖類である。
2. 蛋白質の合成に利用される。
3. グリセロールから合成される。
4. ミトコンドリアで分解される。

生理学



37. 尿量を増やすのはどれか。

1. 循環血液量の減少
2. 血漿浸透圧の上昇
3. バゾプレシン分泌の増加
4. 心肺部圧受容器活動の亢進

生理学

38. 作用発現に標的細胞内のセカンドメッセンジャーを介するのはどれか。

1. カテコールアミン
2. アルドステロン
3. テストステロン
4. トリヨードサイロニン

生理学

39. 排卵を誘発するホルモンはどれか。

1. プロゲステロン
2. プロラクチン
3. 黄体形成ホルモン
4. オキシトシン

生理学

40. シナプス伝達の可塑性を示すのはどれか。

1. 長期増強
2. シナプス遅延
3. 周辺抑制
4. 加重

生理学

41. 副交感神経の活動亢進によるのはどれか。

1. 心拍数の増加
2. 唾液分泌の抑制
3. 毛様体筋の収縮
4. 幽門括約筋の収縮

生理学

42. 視床下部が反射中枢として関与するのはどれか。

1. 排尿反射
2. 姿勢反射
3. 腹壁反射
4. 射乳反射

生理学

43. 近くの物を見るときに形が変わらないのはどれか。

1. 毛様体筋
2. 虹彩
3. 水晶体
4. 角膜

生理学

44. 白血球の中で形質細胞に分化するのはどれか。

1. T細胞
2. B細胞
3. マクロファージ
4. NK細胞

生理学

45. 疾病と一般素因との組合せで最も適切なのはどれか。

1. 網膜芽腫———高齢者に多い
2. 全身性エリテマトーデス———男性に多い
3. 胃癌———欧米人に多い
4. 結核症———肺に多い

病理学

46. プリオン病に分類される疾患はどれか。

1. クロイツフェルト・ヤコブ病
2. エボラ出血熱
3. オウム病
4. ワイル病

病理学

47. 融解壊死がよくみられる疾患はどれか。

1. 心筋梗塞
2. 脳梗塞
3. 腎梗塞
4. 肺壊疽

病理学

48. 門脈圧亢進症で生じやすい出血はどれか。

1. 吐血
2. 喀血
3. 血尿
4. 血胸

病理学

49. 循環障害について正しい組合せはどれか。

1. レイノー病——皮膚温上昇
2. 奇異塞栓症——卵円孔開存
3. バージャー病——炎症性充血
4. 肺高血圧症——左心室肥大

病理学

50. 放射性ヨウ素の被爆によって最も生じやすい腫瘍はどれか。

1. 胃癌
2. 肺癌
3. 前立腺癌
4. 甲状腺癌

病理学

51. 親子間で行われる移植はどれか。

1. 自家移植
2. 同系移植
3. 異形移植
4. 異種移植

病理学

52. 急性腹膜炎でみられる徴候はどれか。

1. ケルニッヒ徴候
2. ブルンベルグ徴候
3. ロンベルグ徴候
4. バビンスキー徴候

臨床医学総論

53. 汎血球減少がみられるのはどれか。

1. 関節リウマチ
2. 肝硬変
3. 溶血性貧血
4. 重症筋無力症

臨床医学総論

54. 貧血で黄疸がみられるのはどれか。

1. 溶血性貧血
2. 巨赤芽球性貧血
3. 鉄欠乏性貧血
4. 再生不良性貧血

臨床医学総論

55. 眼瞼下垂をきたさないのはどれか。

1. 顔面神経麻痺
2. 重症筋無力症
3. 動眼神経麻痺
4. ホルネル症候群

臨床医学総論

56. 計測について正しい記述はどれか。

1. 大腿周径は最大周径で計測する。
2. 前腕周径は前腕中央部で計測する。
3. 下肢長は上前腸骨棘から脛骨内果を計測する。
4. 上肢長は肩峰から尺骨茎状突起を計測する。

臨床医学総論

57. 頸椎症性脊髄症について誤っている記述はどれか。

1. 痙性歩行がみられる。
2. 手指巧緻運動障害を認める。
3. 手内在筋の萎縮を認める。
4. 深部腱反射が減弱する。

臨床医学総論

58. 呼吸音が減弱するのはどれか。

1. 気胸
2. 気管支炎
3. 気管支肺炎
4. 肺結核

臨床医学総論

59. 出血性ショックでみられるのはどれか。

1. 脈拍数の減少
2. 交感神経活性の低下
3. 尿量の減少
4. 呼吸数の減少

臨床医学総論

60. 生後3ヶ月検診で右股関節の開排制限を認めた。最も考えられる疾患はどれか。

1. ペルテス病
2. 先天性股関節脱臼
3. 大腿骨頭すべり症
4. 大腿骨頭壊死症

臨床医学各論

61. 小児の骨折について正しい記述はどれか。

1. 不全骨折の比率が低い。
2. 骨端線損傷は成長障害の原因にならない。
3. 自家矯正能は旺盛である。
4. 骨癒合が遅い。

臨床医学各論

62. 慢性膀胱炎で正しい記述はどれか。

1. 胆石によるものが多い。
2. 便秘が多い。
3. 腹部超音波検査で石灰化像がみられる。
4. 病初期より糖尿病が発症する。

臨床医学各論

63. 院内感染と関連が深いのはどれか。

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
2. A群溶血連鎖球菌
3. 肺炎球菌
4. 破傷風菌

臨床医学各論

64. 全身性エリテマトーデスについて正しい記述はどれか。

1. 血清γ-グロブリン値は低下する。
2. 末梢白血球数は減少する。
3. 補体値は高値となる。
4. HLA-B51が陽性である。

臨床医学各論

65. 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 再生不良性貧血——ハンター舌炎
2. 悪性リンパ腫——レイノー現象
3. 皮膚筋炎——陰部潰瘍
4. ベーチェット病——口腔内アフタ性潰瘍

臨床医学各論

66. 眼疾患と所見との組合せで正しいのはどれか。

1. アレルギー性結膜炎——眼瞼腫脹
2. 緑内障——水晶体混濁
3. 白内障——ブドウ膜炎
4. 角膜炎——眼圧亢進

臨床医学各論

67. 関節リウマチの関節内初期病変部位はどれか。

1. 靭帯
2. 骨
3. 関節軟骨
4. 滑膜

臨床医学各論

68. 疾患と牽引方法との組合せで正しいのはどれか。

1. 大腿骨骨幹部骨折——直達牽引
2. 腰椎椎間板ヘルニア——スピードトラック牽引
3. 大腿骨頸部骨折——骨盤牽引
4. 筋性斜頸——頸椎牽引

臨床医学各論

69. L4-L5椎間板ヘルニアについて正しい記述はどれか。

1. 下肢症状は両側性に出現することが多い。
2. 好発年齢は60歳代である。
3. 下肢伸展挙上テストは陽性である。
4. 膝蓋腱反射が減弱する。

臨床医学各論

70. 肺気腫について正しい記述はどれか。

1. 肺胞の胞隔に線維化をきたす。
2. CO₂ナルコーシスをきたす。
3. 呼気は短縮する。
4. 肺機能検査で残気量が減少する。

臨床医学各論

71. 肺癌の検査法で適切でないのはどれか。

1. 超音波検査
2. CT検査
3. MRI検査
4. PET(ポジトロンCT)検査

臨床医学各論

72. 気胸について正しい記述はどれか。

1. 突然嘔声が出現する。
2. 肥満は危険因子である。
3. 自然気胸は成人女性に多い。
4. 緊張性気胸は緊急処置が必要となる。

臨床医学各論

73. 自動体外式除細動器 (AED)について誤っている記述はどれか。

1. 薬事法に定められた医療機器である。
2. 除細動の時は対象者の体に触れない。
3. 使用するには医師の指示が必要である。
4. AEDは自動的に心室細動を判定し除細動する。

臨床医学各論

74. 胃切除後のダンピング症候群の所見で誤っているのはどれか。

1. 冷汗
2. 腹痛
3. 高血糖
4. 下痢

臨床医学各論

75. 痛風の食事療法で摂取制限をするのはどれか。

1. 糖分
2. アルコール
3. 水分
4. 塩分

臨床医学各論

76. フローマン徴候がみられるのはどれか。

1. 正中神経麻痺
2. 腋窩神経麻痺
3. 橈骨神経麻痺
4. 尺骨神経麻痺

臨床医学各論

77. 「55歳の女性。夕食にてんぷらを摂取後、悪心、嘔吐、右季肋部痛が出現し、救急外来を受診した。血液検査データで白血球数 $19,500/\mu\text{l}$ 、CRP高値、赤沈亢進を認めた。」本患者で予測される所見はどれか。

1. 視診で皮膚線条がみられる。
2. 聴診で血管雑音が聴取される。
3. 打診で肋骨脊柱角に叩打痛がある。
4. 触診で筋性防御がみられる。

臨床医学各論

78. 「55歳の女性。夕食にてんぷらを摂取後、悪心、嘔吐、右季肋部痛が出現し、救急外来を受診した。血液検査データで白血球数 $19,500/\mu\text{l}$ 、CRP高値、赤沈亢進を認めた。」本患者でまず行う検査はどれか。

1. 腹部超音波検査
2. 消化管内視鏡検査
3. 血管造影検査
4. PET(ポジトロンCT)検査

臨床医学各論

79. 「71歳の女性。1週間前から労作時の胸痛を自覚していたが、安静で症状は軽減したため放置していた。しかし、昨日より安静時でも胸痛が起こるようになり、救急受診した。」本疾患の危険因子として最も重要なのはどれか。

1. 低血糖
2. 低血圧
3. 低HDL血症
4. 低アルブミン血症

臨床医学各論



80. 「71歳の女性。1週間前から労作時の胸痛を自覚していたが、安静で症状は軽減したため放置していた。しかし、昨日より安静時でも胸痛が起こるようになり、救急受診した。」本疾患の合併症としてよくみられるのはどれか。

1. 僧帽弁狭窄症
2. 心室性期外収縮
3. 心房中隔欠損症
4. 気胸

臨床医学各論

81. 末梢性顔面神経麻痺でみられる症状はどれか。

1. 嗅覚障害
2. 対光反射消失
3. 顔面知覚低下
4. 味覚障害

臨床医学各論

82. ギラン・バレー症候群について正しい記述はどれか。

1. 中枢神経障害である。
2. 対称性の四肢脱力がみられる。
3. 髄液検査で細胞数の増加を認める。
4. 自然軽快は少ない。

臨床医学各論

83. 突発性難聴について正しい記述はどれか。

1. 伝音性難聴である。
2. 頭痛を伴う。
3. 耳鳴りを伴う。
4. 抗菌薬が有効である。

臨床医学各論

84. 身体障害者手帳の種類と原因疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. 平衡機能障害——変形性関節症
2. 肢体不自由——ベル麻痺
3. そしゃく機能障害——筋萎縮性側索硬化症
4. 内部障害——パーキンソン病

リハビリテーション医学

85. 関節可動域測定法について正しい記述はどれか。

1. 自動運動で測定する際はその旨を明記する。
2. 10度単位で測定する。
3. 基本肢位を90度として表示する。
4. 筋の短縮をみるには多関節筋を弛緩させる。

リハビリテーション医学

86. 痙縮の評価に用いるのはどれか。

1. 徒手筋力テスト
2. アシュワーススケール
3. 内田-クレペリンテスト
4. バーセルインデックス

リハビリテーション医学

87. 脳卒中片麻痺患者に用いる装具はどれか。

1. PTB式免荷装具
2. 股関節外転装具
3. 金属支柱付膝装具
4. 靴べら式短下肢装具

リハビリテーション医学



88. 異常歩行とその原因疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 小刻み歩行——パーキンソン病
2. トレンデレンブルグ歩行——変形性膝関節症
3. 失調性歩行——脊髄損傷
4. 痙性歩行——ギラン・バレー症候群

リハビリテーション医学

89. 脳卒中片麻痺患者の対応で適切な記述はどれか。

1. 患側の可動域訓練では素早く関節を動かす。
2. 麻痺側の肩関節亜脱臼は徒手的整復を行う。
3. 杖の高さは床から臍部の高さまでとする。
4. 利き手が完全麻痺の場合は利き手交換訓練を行う。

リハビリテーション医学

90. 脊髄損傷による完全対麻痺患者に対する社会復帰支援で正しいのはどれか。

1. 電動車いすでの屋外移動
2. 下肢装具での実用歩行
3. 自動車運転免許の取得
4. 入浴サービスの手配

リハビリテーション医学

91. 脳性麻痺について正しい記述はどれか。

1. 脊髄病変が関与する。
2. 運動の永続的障害である。
3. 進行性病変である。
4. 生後4ヶ月以降に生じる。

リハビリテーション医学

92. 五行と五香との組合せで正しいのはどれか。

1. 木——臊
2. 火——香
3. 土——腥
4. 金——腐

東洋医学概論

93. 血を脈外に漏らさないようにするのはどれか。

1. 推动作用
2. 温煦作用
3. 気化作用
4. 固摂作用

東洋医学概論

94. 生体の活力として働く気の類に含まれるのはどれか。

1. 血
2. 精
3. 魂
4. 体

東洋医学概論

95. 五臓と五主との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝——皮毛
2. 心——筋
3. 脾——肌肉
4. 肺——血脈

東洋医学概論

96. 脾の生理機能はどれか。

1. 精を蔵す。
2. 運化を主る。
3. 目に開竅する。
4. 液は汗である。

東洋医学概論

97. 胆と表裏関係にある臓の生理作用はどれか。

1. 血を蔵す。
2. 気を主る。
3. 腐熟を主る。
4. 水を主る。

東洋医学概論

98. 外邪で遊走性の痛みを起こすのはどれか。

1. 風邪
2. 湿邪
3. 火邪
4. 燥邪

東洋医学概論

99. 胃気の上逆でみられるのはどれか。

1. 喘
2. 嘔
3. 欠
4. 吃逆

東洋医学概論

100. 気が逆行して起こる病の総称はどれか。

1. 積聚
2. 瘕
3. 厥
4. 疝

東洋医学概論

101. 腎精の不足が最も疑われるのはどれか。

1. 息切れ
2. 不妊
3. 目のかすみ
4. 食欲不振

東洋医学概論

102. 肺の病症でみられるのはどれか。

1. 暑くなくても汗が出る。
2. 腑臓が下垂する。
3. 腹痛のない下痢が起こる。
4. よくため息が出る。

東洋医学概論

103. 陰虚による舌質の色はどれか。

1. 淡白舌
2. 淡紅舌
3. 紅舌
4. 紫舌

東洋医学概論

104. だるい痛みはどれか。

1. 刺痛
2. 隱痛
3. 脹痛
4. 酸痛

東洋医学概論

105. 虚証でみられるのはどれか。

1. 緊脈
2. 滑脈
3. 細脈
4. 洪脈

東洋医学概論

106. 大腿の前内側を上行する経脈はどれか。

1. 胃経
2. 脾経
3. 腎経
4. 肝経

経絡経穴概論

107. 経脈流注と接続部との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝経から肺経——中焦
2. 大腸経から胃経——口角外方
3. 心包経から三焦経——手の中指端
4. 小腸経から膀胱経——足の小指端

経絡経穴概論

108. 経穴間が最も短いのはどれか。

1. 石関と腹哀
2. 懸枢と痞根
3. 外丘と懸鐘
4. 気衝と足五里

経絡経穴概論

109. 骨度で最も短いのはどれか。

1. 恥骨結合上縁から膝蓋骨上縁
2. 膝蓋骨尖から内果尖
3. 大転子頂点から膝窩
4. 殿溝の中央から膝窩

経絡経穴概論

110. 膝窩横紋上で半腱様筋腱の外側縁にあるのはどれか。

1. 陰陵泉
2. 曲泉
3. 陰谷
4. 膝関

経絡経穴概論

111. 上腕二頭筋の外側縁にある経穴はどれか。

1. 天溪
2. 天膠
3. 天泉
4. 天府

経絡経穴概論

112. 肘関節から最も遠いのはどれか。

1. 小腸経の絡穴
2. 心包経の金穴
3. 肺経の郄穴
4. 三焦経の土穴

経絡経穴概論

113. 胸鎖乳突筋の後縁で輪状軟骨の高さにある経穴はどれか。

1. 天鼎
2. 扶突
3. 水突
4. 人迎

経絡経穴概論

114. 陽維脈の郄穴の部位はどれか。

1. 腓骨の後方、外果尖の上方7寸
2. 腓骨の前方、外果尖の上方7寸
3. 腓骨の前方、外果尖の上方3寸
4. 腓骨とアキレス腱の間、崑崙の上方3寸

経絡経穴概論

115. 自経にある募穴はどれか。

1. 期門
2. 巨闕
3. 天枢
4. 章門

経絡経穴概論

116. 四総穴で頭頂の病変に用いるのはどれか。

1. 足三里
2. 委中
3. 列欠
4. 合谷

経絡経穴概論

117. 募合配穴で天枢と併せて用いるのはどれか。

1. 足三里
2. 上巨虚
3. 下巨虚
4. 陽陵泉

経絡経穴概論

118. 八会穴で陽経に属するのはどれか。

1. 脈会
2. 気会
3. 髓会
4. 腑会

経絡経穴概論

119. 次の文で示す患者に八会穴を用いて治療する場合、適切なのはどれか。「51歳の女性。6ヶ月前から上腕外側に刺すような痛みが発症。舌診では舌下静脈怒張、腹診では小腹急結がみられる。脈は細瀆。

1. 太淵
2. 膻中
3. 膈俞
4. 中腕

東洋医学臨床論

120. 次の文で示す患者の病証に対する治療方針として最も適切なのはどれか。「34歳の女性。主訴はめまい。病院でメニエール病と診断された。いつも頭が重くぼんやりし、四肢も重だるい。舌苔は厚膩、脈は滑。」

1. 気血を補う。
2. 肺陰を補う。
3. 胃気の上逆を抑える。
4. 痰濁を取り除く。

東洋医学臨床論

121. 次の文で示す患者の病証に対する治療方針として最も適切なのはどれか。「63歳の男性。主訴は不眠。就寝しても手足がほてり、胸部の熱が煩わしくて落ち着かず、すぐに目が覚めてしまう。寝汗も多い。舌尖は紅、脈は細数。」

1. 肝血を補う。
2. 腎陽を養う。
3. 心火を降ろす。
4. 胃熱を除く。

東洋医学臨床論

122. 次の文で示す患者の病証に対する治療方針として最も適切なのはどれか。「40歳の男性。下腹部の痛みを伴う癱閉がある。口渇はあるが、あまり水を飲む気はしない。舌質は紅、舌苔は黄膩、脈は滑数。」

1. 湿熱の除去
2. 気滯の除去
3. 腎精の回復
4. 固摂機能の回復

東洋医学臨床論

123. 次の文で示す患者の病証に対して難経六十九難の治療原則に基づく治療穴はどれか。「35歳の男性。寒くなると鼻水が出る。鼻汁の量は多く、色は白く、多少粘つくが臭いはしない。風邪を引きやすく、喘息傾向にある。舌苔は薄白、脈は緩弱。」

1. 尺沢
2. 経渠
3. 太淵
4. 少商

東洋医学臨床論

124. 理学検査所見と罹患部への治療穴との組合せで適切なのはどれか。

1. ファレンテスト陽性——陽谷
2. フィンケルスタインテスト陽性——偏歴
3. ペインフルアークサイン陽性——魄戸
4. アドソンテスト陽性——雲門

東洋医学臨床論

125. 局所治療穴として小海穴が最も適切な理学検査所見はどれか。

1. ヤーガソンテスト陽性
2. ダウバーン徴候陽性
3. チェアテスト陽性
4. ティネル徴候陽性

東洋医学臨床論

126. 肩こりに対する頸肩部の鍼治療を行う場合、脳虚血を起こしやすい体位はどれか。

1. 座位
2. 背臥位
3. 腹臥位
4. 側臥位

東洋医学臨床論

127. 緊張型頭痛に対する局所治療について、罹患筋と治療穴との組合せで正しいのはどれか。

1. 頭板状筋——脳空
2. 側頭筋——率谷
3. 後頭筋——風池
4. 僧帽筋——玉枕

東洋医学臨床論

128. 脳血管障害後遺症による顔面神経麻痺に対する局所治療穴として、適切でないのはどれか。

1. 陽白
2. 四白
3. 顴膠
4. 地倉

東洋医学臨床論

129. 棘上筋のこりに対して鍼通電療法を行う場合、刺鍼部位の組合せとして最も適切なのはどれか。

1. 天柱——肩井
2. 秉風——曲垣
3. 臑兪——天宗
4. 臂臑——肩貞

東洋医学臨床論



130. 野球選手の慢性期の肩インピンジメント症候群に対する局所治療穴で、最も適切なのはどれか。

1. 肩貞
2. 肩髃
3. 肩井
4. 肩外兪

東洋医学臨床論

131. 次の文で示す患者の病態に対し、罹患局所への施術対象となる神経根で最も適切なのはどれか。
「35歳の男性。腰椎椎間板ヘルニアを発症し、腰下肢痛がある。患側では長母指屈筋の筋力低下、足底部に知覚鈍麻がみられる。アキレス腱反射は減弱。」

1. L3神経根
2. L4神経根
3. L5神経根
4. S1神経根

東洋医学臨床論

132. 驚足を構成する筋の緊張を取るのに最も適切な治療穴はどれか。

1. 陰包
2. 梁丘
3. 委中
4. 血海

東洋医学臨床論

133. 「28歳の女性。日頃から便秘気味だが月経後に症状はひどくなる。便意はあるが排便困難で、便が少し出るだけである。顔や唇、爪の血色は悪く、倦怠感やめまいがする。脈は細。」この患者の舌所見として最も考えられるのはどれか。

1. 淡白舌
2. 淡紅舌
3. 紅舌
4. 紫舌

東洋医学臨床論

134. 「28歳の女性。日頃から便秘気味だが月経後に症状はひどくなる。便意はあるが排便困難で、便が少し出るだけである。顔や唇、爪の血色は悪く、倦怠感やめまいがする。脈は細。」この患者の病証に対する治療方針として最も最適なのはどれか。

1. 虚熱を除く。
2. 痰濁を除く。
3. 気血を補う。
4. 津液を補う。

東洋医学臨床論

135. 「50歳の男性。長年、バドミントンを続けているが、最近バックハンド時に肘に痛みを自覚する。局所の熱感・腫脹はないが、筋の過緊張と圧痛がみられる。」病態の確認を目的として行う理学検査で最も適切なのはどれか。

1. イートンテスト
2. ライトテスト
3. スピードテスト
4. トムゼンテスト

東洋医学臨床論

136. 「50歳の男性。長年、バドミントンを続けているが、最近バックハンド時に肘に痛みを自覚する。局所の熱感・腫脹はないが、筋の過緊張と圧痛がみられる。」罹患部への治療穴として適切なのはどれか。

1. 尺沢
2. 曲沢
3. 支正
4. 手三里

東洋医学臨床論



137. 「23歳の女性。主訴は月経痛。下腹部の脹ったような痛みで月経血に血塊がみられる。下腹部を押すと痛みが増強。舌診では淡白舌、舌苔剥離、脈診では弦脈を呈した。」病証に基づく治療方針として最も適切なのはどれか。

1. 肝気の不足を補う。
2. 肝血の不足を補う。
3. 肝気の滞りを除く。
4. 肝陽の上亢を抑える。

東洋医学臨床論

138. 「23歳の女性。主訴は月経痛。下腹部の脹ったような痛みで月経血に血塊がみられる。下腹部を押すと痛みが増強。舌診では淡白舌、舌苔剥離、脈診では弦脈を呈した。」月経痛の痛み治療としてゲートコントロール理論に基づく鍼通電療法で適切な組合せはどれか。

1. 次膠——下膠
2. 腎俞——大腸俞
3. 脾俞——三焦俞
4. 膈俞——肝俞

東洋医学臨床論

139. 「53歳の女性。クッキーを食べたとき唾液の分泌が悪いのに気付いた。最近涙の分泌も悪く眼球乾燥もある。シルマー試験は陽性で、免疫血清検査の抗Ro/SS-A抗体、抗La/SS-B抗体も陽性であった。」最も考えられる疾患はどれか。

1. ベーチェット病
2. 全身性硬化症
3. 全身性エリテマトーデス
4. 原発性シェーグレン症候群

東洋医学臨床論

140. 「53歳の女性。クッキーを食べたとき唾液の分泌が悪いのに気付いた。最近涙の分泌も悪く眼球乾燥もある。シルマー試験は陽性で、免疫血清検査の抗Ro/SS-A抗体、抗La/SS-B抗体も陽性であった。」唾液、涙の分泌改善を目的に支配神経の近傍に刺鍼を行う場合、適切な経穴はどれか。

1. 天柱
2. 翳風
3. 風池
4. 秉風

東洋医学臨床論

141. 毫鍼の規格で正しい組合せはどれか。

1. 2寸・5番鍼——70mm 24号鍼
2. 1寸6分・1番鍼——50mm 15号鍼
3. 1寸3分・2番鍼——40mm 16号鍼
4. 1寸・3番鍼——30mm 20号鍼

鍼理論

142. 鍼を皮下に留め、押手と刺手と共に皮膚を輪状に動かす手技はどれか。

1. 回旋術
2. 施撚術
3. 鍼尖転移術
4. 刺鍼轉向術

鍼理論

143. 刺激時間を最も長くできるのはどれか。

1. 皮内鍼法
2. 鍼通電療法
3. 小児鍼法
4. 灸頭鍼法

鍼理論

144. 同じ鍼刺激に対してより鋭敏なのはどれか。	
1. 体質の虚弱な者より頑健な者 2. 青年より小児 3. 鍼治療の未経験者より経験者 4. 手足より背部	鍼理論
145. 膏盲穴に深刺した際の合併症で生じる可能性のある症状はどれか。	
1. 空咳 2. 発熱 3. 下痢 4. 腹痛	鍼理論
146. 鍼施術に関する消毒・滅菌の記述で正しいのはどれか。	
1. 施術野の消毒には90%エタノールが用いられる。 2. 単回使用毫鍼の滅菌にはEOGが用いられる。 3. 梅花鍼は洗浄して使用する。 4. イソプロピルアルコールはB型肝炎ウイルスに有効である。	鍼理論
147. 鍼刺激によるポリモーダル受容器の興奮を伝える神経線維はどれか。	
1. A α 2. A β 3. B 4. C	鍼理論
148. 管散術の刺激を伝える神経線維はどれか。	
1. A α 2. A β 3. A γ 4. A δ	鍼理論
149. 「足三里穴に鍼刺激を行ったら胃の運動が亢進した。」作用機序について正しい記述はどれか。	
1. アドレナリン作動性神経 β 受容体を介する。 2. 上脊髄性反射である。 3. 骨盤神経を介した反射である。 4. 求心路には伏在神経が含まれる。	鍼理論
150. 鍼鎮痛に関与するのはどれか。	
1. ヒスタミン 2. アンジオテンシン 3. オピオイドペプチド 4. プロスタグランジン	鍼理論
151. 毛茸について正しい記述はどれか。	
1. 黄色の毛である。 2. ヨモギの葉の表に密生する。 3. T字形をしている。 4. 揮発性の精油が含まれている。	灸理論
152. 良質艾の条件で正しい記述はどれか。	
1. 繊維が細かく軟らかい。 2. 主な構成物は葉脈である。 3. 灰分の含有量が多い。 4. 黒褐色である。	灸理論

153. 次の文で示す状況はどの熱傷深達度に該当するか。「施灸後に局所の発赤とわずかな痛みがある。」

1. I度熱傷
2. 浅達性II度熱傷
3. 深達性II度熱傷
4. III度熱傷

灸理論

154. 良質艾で同じ大きさの艾柱3壮を施灸する場合、刺激を弱くできるのはどれか。

1. 湿った艾を使用する。
2. 灰を一々除去して行う。
3. 艾柱を軟らかくひねる。
4. 燃焼時に風を送る。

灸理論

155. 灸あたりで見られる症状はどれか。

1. ふるえ
2. 疲労感
3. 湿疹
4. しびれ

灸理論

156. 温灸刺激について正しい記述はどれか。

1. 受容器はマイスナー小体である。
2. 順応しにくい。
3. Aβ線維により伝達される。
4. フレアーを生じる。

灸理論

157. 知熱灸の熱刺激の伝達に関係するのはどれか。

1. 錐体路
2. 外側脊髄視床路
3. 腹側脊髄視床路
4. 後索路

灸理論

158. 血管の透過性亢進作用をもつ物質はどれか。

1. セロトニン
2. 血管作動性腸ペプチド
3. カルシトニン遺伝子関連ペプチド
4. サブスタンスP

灸理論

159. 施灸時に血圧上昇をきたす反射の遠心路はどれか。

1. 感覚神経
2. 運動神経
3. 交感神経
4. 副交感神経

灸理論

160. 出力の一部を入力部に戻すことで自動制御を行うという学説はどれか。

1. サイバネティクス
2. ストレス学説
3. ホメオスタシス
4. レイリー現象

灸理論

解答

医療概論

1	3
2	3

衛生学

3	2
4	1
5	4
6	3
7	1
8	4
9	134
10	2

関係法規

11	2
12	4
13	3
14	1

解剖学

15	4
16	1
17	3
18	3
19	2
20	3
21	2
22	1
23	2
24	3
25	1
26	4
27	4
28	4
29	4
30	1

生理学

31	1
32	2
33	2
34	3
35	4
36	3
37	4
38	1
39	3

40	1
41	3
42	4
43	4
44	2

病理学

45	4
46	1
47	2
48	1
49	2
50	4
51	3

臨床医学総論

52	2
53	2
54	1
55	1
56	3
57	4
58	1
59	3

臨床医学各論

60	2
61	3
62	3
63	1
64	2
65	4
66	1
67	4
68	1
69	3
70	2
71	1
72	4
73	3
74	3
75	2
76	4
77	4
78	1
79	3
80	2

81	4
82	2
83	3

リハビリテーション医学

84	3
85	1
86	2
87	4
88	1
89	4
90	3
91	2

東洋医学概論

92	1
93	4
94	2
95	3
96	2
97	1
98	1
99	4
100	3
101	2
102	1
103	3
104	4
105	3

経絡経穴概論

106	2
107	1
108	4
109	4
110	3
111	4
112	2
113	1
114	1
115	1
116	3
117	2
118	3

東洋医学臨床論

119	3
120	4

121	3
122	1
123	3
124	2
125	4
126	1
127	2
128	1
129	2
130	2
131	4
132	1
133	1
134	3
135	4
136	4
137	3
138	3
139	4
140	2

鍼理論

141	4
142	3
143	1
144	2
145	1
146	2
147	4
148	2
149	2
150	3

灸理論

151	3
152	1
153	1
154	3
155	2
156	4
157	2
158	134
159	3
160	1